

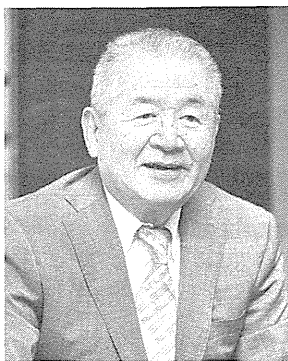
2013新春インタビュー

2

# 転換期のアパレル

—どのような生産体制を目指しますか。

例えば、マッコニーホルディングスを設立し、R生産を進める。こうした蘇州マッコニーは、Hた企画と生産が連携して、Mなどのビジネスをかつクイックに対応でき展開しています。ロンド



TSIホールディングス  
会長兼社長

三宅 正彦 氏

す。

円安の進展によるコストの上昇は今後、アパレルの生産体制に影響を与えます。

大手も大変ですが、中

## TSIホールディングス(後)

減りました。テキスタイルも問屋が減り、我々もコストの上昇は今のままです。既存の「ヴァンドゥー・オクト」などがあるのは、海外生産でも素材の現地調達を進める。そうした大手も大変ですが、中

## コトの観点を取り入れて

小アパレルはより深刻です。

国内生産に割安感が生まれるかもしれませ

—収益力拡大では既存チャネルの強化が重要です。

は、ファストファッションの台頭で、百貨店を中

心にした市場が縮小して

いるからです。10兆円の

百貨店売上高が6兆円に

追いつくのは、同時に新

—サンエー・イン

ターナショナルの

「ナチュラルビュー

ティーベリースック」

は好調です。その理

由は。

160億円規模でコン

スタントに伸びていま

ショッピングセンタ

ゴルフ人口は減ってい

ます。(この項おわり)

—事業領域の拡大

では、ファッション

関連消費の拡大も狙

う。

コトの観点でライフス

スタイルを見る形で提

供していきます。例え

ば、チェーン構想も考

えていきます。(この項

おわり)